

興徳寺便り

第147号
(復刊第72号)
令和7年春彼岸

木や草と人間と
みんなどんなの
ときがくれば彼等が
人間より偉らいときえ思われる
彼らはときがくれば
花を咲かせ
実をみのらせ
じぶんを完成させる
それにくらべて人間は
何一つしないで終わるものもいる
木に学べ
草に習えと
わたしはじぶんに言いよかせ
今日も一本の道を歩いて行く

一本の道と

坂村貞民の詩から

かえらば
時がくれば
花を咲かせ
実をみのらせ

自分を完成させる
それにくらべて人間は
木に学べ草に習えと
わたしは自分自身に
今日も一本の道を行く

仏教詩人・坂村貞民（平成18年97歳で愛媛県砥部町にて逝去）の『一本の道』です。

草や木と人間とどちらが偉いか、などと考えたこともありませんでしたが、毎年同じ時期になる

と必ず花を咲かせ実をみのらせる植物、本当に大したものですよ。

木や草と人間と

どこがちがうだろうか
みんな同じなのだ
いつしようけんめいに

生きようとしているのを見ると
ときがくれば彼等が
人間より偉らいときえ思われる
彼らはときがくれば
花を咲かせ
実をみのらせ

じぶんを完成させる
それにくらべて人間は

何一つしないで終わるものもいる
木に学べ
草に習えと

わたしはじぶんに言いよかせ
今日も一本の道を歩いて行く

宮本武蔵等の小説などで有名な吉川英治さんの「我以外皆我師也（われいがいみなわがしなり）」という言葉を座右の銘としておられる方が多くおられます。人生の先輩はもちろん、子どもたちからも草や木など自然界からも学ぶことはたくさんあります。大切なことはまずは自

分自身が謙虚であること、そして・・・とても難しいことですが、すべてを敬うこと。

ムカシ、常不軽という一人の修行僧がおりました。お経も読まずもっぱら道行く人に手を合わせ「私はあなた方を深く敬います」と唱えました。人々は気味悪がって杖で叩いたり石を投げつけたりしましたが、それでも同じ言葉を繰り返して「なぜなら皆さまは菩薩の修行をし将来は必ず仏になられるお方だからです」と。生涯その行為を続けそしてその生命が尽きようとした時寿命が延びてさらに人々のために法華経を説き、諸仏を供養し後に仏と成りました・・・常不軽菩薩。実はそれはお釈迦様の過去世の姿なのです。

—法華経常不軽菩薩品より—

信ずる道を謙虚にスナオに、思い上がらず、差別せず・・・そうすると必ず助けられる人が現れて、思いもかけない良き人生が展開する。多くの方が語るところですが、それはすべて仏さまのお導き、なのです。

春から夏までの予定

3月20日(木曜日) ^{ひ かん え} 彼岸会 10:00~ 法要と法話
 お彼岸の法要です。ご家族・お友達 お誘いあわせてどうぞ。
 法要の中でご先祖様の回向をさせていただきます。(お塔婆は2千円です)。

4月6日(日曜日) 花祭り 12:30~ 法要。13:30~ ショー
 第18回目の「花まつり」です。お釈迦様の誕生を祝い、仏さまのご縁に感謝する日。
 甘茶・お抹茶の接待、駐車場では売店、お花見も楽しめます。
 法要後は本堂前の特設舞台での「邦楽演奏」、書家・木村華暢さんの石段50mを使っての
 「書のパフォーマンス」・「はる」・「劇団うふふ」……

『劇団 うふふ』の大型人形芝居、「かにむかし」
 新作です。「サルかに合戦」の名で親しまれているお話を、今ま
 での「うふふ」の舞台とはちょっと違
 う新しい形に作り上げました。
 人形と人間の織り成す不思議な
 世界、どうぞご期待ください。
 それから、今年も福岡から『はる』
 がやってきます。昨年初めてのはるちゃんソロコンサート。
 好評でした。今年もどうぞ楽しんでください。



興徳寺をきれにする日 6月15日 と 7月20日 の 2回
 朝7:00~9:00頃まで 草刈・草むしり・お掃除など、できるご奉仕を。男女年齢問わず。

^{しゃきょう しょうだいぎょう}
写経・唱題行 毎月 第4日曜日 15時より「写経」 16時より「唱題行」
3月23日 ・ 4月27日 ・ 5月25日 ・ 6月22日 ・ 7月27日
 静かな雰囲気の中でお経を写し、お題目を唱えます。深い呼吸と精神統一によって、
 気持ちもスッキリ。 お友達・お仲間を誘って是非、参加してみてください。



日本一の「初日の出」

興徳寺北500mの延命寺山か
 ら富士山と駿河湾を望む。まさ
 に「日本一！」の初日の出です。



法要の前に太鼓の叩き方のレッスン



1月2日、『元旦会』。
新しい年を皆で祝いました。

のお参詣でした。
おだやかなお正月、
60名



法要の後の”お汁粉”



子どもたちもたくさん。



1月20日（寒の入り）～2月2日（節分）までの『寒行』、今年は興徳寺からのスタート、この地域の安穏と世界の人々の幸福を祈り、元気に夜の道をお題目を唱えて歩きました。

彼岸のお経廻りの予定

- 3月1日(土) 万野原新田,大岩,小泉
- 2日(日) 富士市
- 3日 稲子~芝川。大久保
- 4日 精進川と下条 5日 下条~青木
- 6~7日 青木~馬見塚~外神
- 8日(土) 由比・清水・静岡・内房・大久保~希望者
- 9日(日) 三島、希望者, 柚野
- 10日 大中里・淀師・淀川町・穂波町、若の宮町、柚野
- 11日 北山・上井出 山宮・栗倉・舟久保町・村山 柚野
- 12日 柚野・宮原・富士見ヶ丘・源道寺・野中・星山
- 13日 西町・貴船町・泉町・大宮町・宮町・豊町 柚野 14日~柚野
- 15日(土) 希望者, 柚野

**変更を希望する方は ご連絡ください。

住職のひとりごと

●私が20代の初め、たまたま帰省していたときに父親(泰静上人)が一人で寒行に出発する場面に遭遇したことがあります。編み笠を被り本堂前でお経を唱え闇の中に太鼓の音とともに消えていった姿に、チャランポランだった私はちよつと感動したことを覚えています。最初は一人だったそうですが妙泉寺や三澤寺の住職(いずれも当時)が加わり永く続いたそうです。

その息子たちが復活させて今年で21年目、最初の年は坊さん4人だけでしたがその後多くの方が参加してくれるようになり、今では村の冬の風物詩となりました。戸口で頂いた浄財を柚野小学校に10万円、上野小学校に5万円、読み聞かせの会に3万円、今年も寄付させていただきました。いずれも図書費に充てるそうです。なお、↓の写真は富士宮市青木平に移住してきたプロ写真家・ビル・ライオンズさん(米国籍)の作品



タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591

料のかからない「能登半島地震災害義援金」に。いつもの「日蓮宗社会教化事業協会」に15万1千350円を送りました。なお柚野郵便局にて送金手続きの際、水村局長含む3人の職員さんより500円づつお志を。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

●「お知らせ」護持会費の封筒を同封してあります。墓地契約者は一口(2千円/年)、その他の方は二口三口以上でお願いします。可能な方は現在の口数を増やしてください。

また護持会費の使途および残金等につきましては同封の『護持会報告』をごらんください。

●今回の冒頭の詩は横浜在住の書家・荒川涼舟先生(りやうふね)の作品です。私の所属する芳林書院の「芳林書道展」での展示作品、実物は1,8m x 1,8mの大作です。許可を得て撮影・掲載させていただきます。

また元旦会と寒行の写真は高瀬幹雄さんです。ありがとうございました。

【泰然記】

です。『寒行と夜の富士山』サスガですね。快く掲載の許可をくださいました。印刷でうまく再現できず申し訳ないです。●「一食一円アシスト募金」、45名が協力してくださいました。毎回多額の寄付をして下さるある檀家さんが今回も何と6万6千円をあの貯金箱に入れて下さって合計は16万7千833円になりました。1円・5円・10円硬貨が1万6千483円、手数料